



守口市 消費生活センターくらしナビ

<市広報 令和4年9月号>

誤飲事故

子どもの家庭内事故にご注意！



事例1 破損したマグネットパズルの磁石を飲み込み緊急手術した

解説 複数の磁石を誤飲すると、体内で磁石が消化管を隔ててつながり、穴が開いてしまうことがあります大変危険です。磁石を誤飲した可能性があるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。磁石の付いた玩具は破損がないかよく調べ、対象年齢未満の子ども手の届かないところに保管しましょう。

事例2 水で膨らむ樹脂製おもちゃを飲み込んで腸閉塞になった

解説 インテリアや玩具に使用される水でゼリー状に膨らむ樹脂製品は、誤飲すると体内で水分を吸収して膨張し、消化管をふさぐ場合があります大変危険です。小さい子どもがいる家庭では購入を控えることも検討しましょう。

やけど事故



事例3 ウォーターサーバーの温水用蛇口でやけどした

解説 ウォーターサーバーは内部に熱湯を蓄えているものもあり、チャイルドロックをかけていても子どもがさわって解除してしまう場合があります。子どもの手の届かない所に設置しましょう。

事例4 テーブルクロスを引っ張り上に置いた熱い飲み物がかかった

解説 テーブルクロスやランチョンマットを子どもが引っ張ると、上に置いた熱い食べ物や飲み物が落ちてやけどをする危険があります。クロスをしっかり固定するか、できれば使わないようにしましょう。



転倒・転落事故

事例5 子ども用ハイチェアから転落して頭を打った

解説 ハイチェアに子どもを座らせている間は目を離さないようにし、安全ベルトは必ず締めましょう。普段から椅子で遊ばせないようにしましょう。

ポイント



大人が子供を守るための知識を身に付け、安全な商品を選択して正しく利用すること、身の回りの環境を整備し、対策を立てることで、子どもの家庭内事故を防ぐことができます。消費者庁ウェブサイト「子どもを事故から守る！事故防止ポータル」などで情報収集しましょう。安全な玩具を選ぶ際は、一般社団法人日本玩具協会が策定した玩具安全基準に適合した玩具に表示される「STマーク」の有無を参考にするとよいでしょう。

相談専用電話 06-6998-3600

守口市消費生活センター（守口市役所内）

相談時間 午前9時00分～午後4時30分

土・日曜・祝日の相談窓口は、

消費者ホットライン 188（局番なし）